潦科:	:			年		月 日	_	景会』で処方医に確認します 話番号:					
	科:							FAX番号:					
処方医:							薬剤師:						
者ID:								ジメン名 :					
者氏名:							フォ	ローアップ確認日: 月		日			
	_		_		_								
し.アド	ヒ	アラン	ノ	確認	刃心								
] 残薬な	し		残	薬あり	\rightarrow	詳細と理由()			
竪套	多小	生の言	ΞL	/流	 	の有無 → ありのも	무소	合は「疑義照会」で処方	陌	[广] 在 [汉			
白血球減少			_	.—	• .		<i>//</i> / ⊢	ゴは「灰鉄 派 五」 (た) なし □ あり		210年度105			
				-		· · · · •		なし □ あり					
・間質性肺炎を疑う呼吸困難、息切れ、空咳・重篤な出血(吐血、下血、喀血、血尿)								なし □ あり					
急激な体質		-		ш, п		mi//J\/		なし □ あり					
				3 46	\	T=====================================			_				
3. 副1	_				沈		22	以上はすみやかに連絡	谷				
悪心	短	状確認	症	犬有無		Grade1		Grade2 顕著な体重減少や栄養失調を伴わない		Grade 3			
念心 食欲不振		未確認		なし		摂食習慣に影響のない食慾低下		経口摂取		経管栄養、TPN、入院を要する			
スルインスロシュ				451	П	2.40±88/-4 2.±18/1 1"							
良飲小振 嘔吐		未確認		なし		24時間に1~2エピソード		24時間に3~5エピソード		24時間に6エピソード以上			
		未確認		なし		24時間に1~21ビソート 軽度症状で治療を要さない		中等度の疼痛があり、食事変更により		高度の疼痛があり、経口摂取に			
嘔吐				なし		軽度症状で治療を要さない日常と比較して3回/日以下の		中等度の疼痛があり、食事変更により 経口摂取 日常と比較して4~6回/日の		高度の疼痛があり、経口摂取に 支障がある 日常と比較して7回/日以上の			
嘔吐 口内炎 下痢		未確認		なし		軽度症状で治療を要さない 日常と比較して3回/日以下の 便回数増加		中等度の疼痛があり、食事変更により 経口摂取		高度の疼痛があり、経口摂取に 支障がある 日常と比較して7回/日以上の 便回数増加			
嘔吐 口内炎		未確認		なし		軽度症状で治療を要さない日常と比較して3回/日以下の		中等度の疼痛があり、食事変更により 経口摂取 日常と比較して4~6回/日の 便回数増加		高度の疼痛があり、経口摂取に 支障がある 日常と比較して7回/日以上の			
嘔吐 口内炎 下痢		未確認		なし		軽度症状で治療を要さない 日常と比較して3回/日以下の 便回数増加		中等度の疼痛があり、食事変更により 経口摂取 日常と比較して4~6回/日の 便回数増加 緩下薬または浣腸の定期的使用を 要する持続的症状 疼痛を伴う皮膚の変化による		高度の疼痛があり、経口摂取に支障がある 日常と比較して7回/日以上の便回数増加 摘便を要する頑固な症状 高度の皮膚の変化による			
嘔吐 □内炎 下痢 便秘 F足症候群		未確認 未確認 未確認 未確認		なし なし なし なし		軽度症状で治療を要さない 日常と比較して3回/日以下の 便回数増加 不定期または間欠的症状 疼痛を伴わない軽微皮膚症状		中等度の疼痛があり、食事変更により 経口摂取 日常と比較して4~6回/日の 便回数増加 緩下薬または浣腸の定期的使用を 要する持続的症状		高度の疼痛があり、経口摂取に 支障がある 日常と比較して7回/日以上の 便回数増加 摘便を要する頑固な症状			
嘔吐 口内炎 下痢 便秘		未確認未確認		なしなし		軽度症状で治療を要さない 日常と比較して3回/日以下の 便回数増加 不定期または間欠的症状 疼痛を伴わない軽微皮膚症状 爪襞の浮腫や紅斑;角質の剥脱		中等度の疼痛があり、食事変更により 経口摂取 日常と比較して4~6回/日の 便回数増加 緩下薬または浣腸の定期的使用を 要する持続的症状 疼痛を伴う皮膚の変化による 身の回り以外の日常生活動作の制限 内服治療を要する; 身の回り以外の日常生活動作の制限		高度の疼痛があり、経口摂取に支障がある 日常と比較して7回/日以上の便回数増加 摘便を要する頑固な症状 高度の皮膚の変化による 身の回りの日常生活動作の制度 外科的処置を要する; 身の回りの日常生活動作の制度			
嘔吐 □内炎 下痢 便秘 手足症候群		未確認 未確認 未確認 未確認		なし なし なし なし		軽度症状で治療を要さない 日常と比較して3回/日以下の 便回数増加 不定期または間欠的症状 疼痛を伴わない軽微皮膚症状 爪襞の浮腫や紅斑;角質の剥脱 体表面積の<10%を占める		中等度の疼痛があり、食事変更により 経口摂取 日常と比較して4~6回/日の 便回数増加 緩下薬または浣腸の定期的使用を 要する持続的症状 疼痛を伴う皮膚の変化による 身の回り以外の日常生活動作の制限 内服治療を要する; 身の回り以外の日常生活動作の制限 体表面積の10%~30%を占める		高度の疼痛があり、経口摂取に支障がある 日常と比較して7回/日以上の便回数増加 摘便を要する頑固な症状 高度の皮膚の変化による 身の回りの日常生活動作の制度 外科的処置を要する; 身の回りの日常生活動作の制度 体表面積の>30%を占める			
嘔吐 □内炎 下痢 便秘 手足症候群 爪囲炎		未確認 未確認 未確認 未確認 未確認		なし なし なし なし なし		軽度症状で治療を要さない 日常と比較して3回/日以下の 便回数増加 不定期または間欠的症状 疼痛を伴わない軽微皮膚症状 爪襞の浮腫や紅斑;角質の剥脱 体表面積の<10%を占める 紅色丘疹、膿疱 症状がなく臨床所見または		中等度の疼痛があり、食事変更により 経口摂取 日常と比較して4~6回/日の 便回数増加 緩下薬または浣腸の定期的使用を 要する持続的症状 疼痛を伴う皮膚の変化による 身の回り以外の日常生活動作の制限 内服治療を要する; 身の回り以外の日常生活動作の制限		高度の疼痛があり、経口摂取に支障がある 日常と比較して7回/日以上の便回数増加 摘便を要する頑固な症状 高度の皮膚の変化による 身の回りの日常生活動作の制度 外科的処置を要する; 身の回りの日常生活動作の制度			
嘔吐 口内炎 下痢 便秘 三足症候群 爪囲炎		未確認 未確認 未確認 未確認 未確認 未確認		なし なし なし なし なし なし		軽度症状で治療を要さない 日常と比較して3回/日以下の 便回数増加 不定期または間欠的症状 疼痛を伴わない軽微皮膚症状 爪襞の浮腫や紅斑;角質の剥脱 体表面積の<10%を占める 紅色丘疹、膿疱		中等度の疼痛があり、食事変更により 経口摂取 日常と比較して4~6回/日の 便回数増加 緩下薬または浣腸の定期的使用を 要する持続的症状 疼痛を伴う皮膚の変化による 身の回り以外の日常生活動作の制限 内服治療を要する; 身の回り以外の日常生活動作の制限 体表面積の10%~30%を占める 紅色丘疹、膿疱		高度の疼痛があり、経口摂取に支障がある 日常と比較して7回/日以上の便回数増加 摘便を要する頑固な症状 高度の皮膚の変化による 身の回りの日常生活動作の制度 外科的処置を要する; 身の回りの日常生活動作の制度 体表面積の> 30%を占める 紅色丘疹、膿疱			

ご報告ありがとうございます。以下の様に対	応しました。	薬剤師名:	(ED)
□ 電子カルテに取り込んでいます	□ 主治医に報告	しています			
薬剤師よりコメント()